

4th G-COE International Workshop on Energy and Environment in Chemical Engineering

日時: 2011年9月28日

場所: 九州大学鉄鋼リサーチセンター

九州大学工学研究院 岩井 芳夫

「第4回 化学工学におけるエネルギーと環境に関するグローバルCOE国際ワークショップ」が平成23年9月28日に九州大学鉄鋼リサーチセンターで開催されました。本ワークショップは工学部百周年記念事業との共催行事でした。講演者としてカナダ、イタリア、台湾、韓国からそれぞれ1名ずつ招聘し、計4件の講演がありました。参加者は64名で、質疑応答も活発に行われ、盛況でした。

まず、G-COEプロジェクトリーダーの永島先生よりG-COEプロジェクトの概要説明がありました。次に、Dr. Dingan Zhang(Schlumberger, Canada)が状態方程式を用いた原油の物性

評価に関する講演を行いました。続いて、Dr. Jui-Yuan Lee(National Taiwan University, Taiwan)が数学的アプローチによる化学プロセスにおける水とエネルギー利用の最適化に関する講演を行いました。短い休憩の後、Dr. Young Jun Sohn(Korea Institute of Energy Research, Korea)が高分子燃料電池の製造における正極の触媒の微細構造の制御およびその構造がおよぼす水の挙動について講演しました。最後に、Dr. Cristiana Figus(Sassari University, Italy)が有機化合物と無機化合物の複合材料の製造について講演しました。

講演一覧

- Dingan Zhang**
(カナダ DBR Technology Center, Schlumberger)
"Reservoir fluid characterization using equation of state"
Jui-Yuan Lee (台湾 National Taiwan University)
"Process integration for water and energy conservation using mathematical approach"
Young Jun Sohn (韓国 Fuel Cell Research Center, Korea Institute of Energy Research)
"Fabrication of microstructure controlled cathode catalyst layers and their effect on water management in polymer electrolyte fuel cells"
Cristiana Figus (イタリア Sassari University)
"Hybrid organic-inorganic films: from self-organisation to microfabrication"



1. 講演中のDr. Dingan Zhang
2. Dr. Young Jun Sohnとの質疑応答
3. 講演中のDr. Cristiana Figus
4. 講演者とG-COE関係の教員(化学工学部門)の集合写真

The 4th KU-KU (Kyushu Univ.-Korea Univ.) Joint Workshop on Functional Materials

日時: 2011年9月28日~30日

場所: 熊本県 清流荘

九州大学総合理工学研究院 木田 徹也、島ノ江 憲剛

KU-KU Workshopは九州大学と高麗大学のそれぞれの学生が主体となって運営を行う形式の交流ワークショップとして発足しました。これまでに、2008年11月に高麗大学をホスト校として第1回が韓国(ソウル)にて行われて以来、2009年5月に第2回(ホスト:九州大学、場所:大分)が、2010年9月に第3回(ホスト:高麗大学、場所:ソウル)が開催されています。今回の第4回は再び九州大学をホストとして熊本にて開催しました。

本ワークショップでは、酸化物を用いた機能性デバイスについて両研究室の学生が、英語による口述、ポスター発表、質疑応答を行うものです。発表と質疑応答によるセミナーの前後には、レセプションパーティーやエキスカージョンの形で交流会を行っており、ホスト国の文化等を学ぶこともできるワークショップです。

また、学生主体で運営を行うため、事前準備として、各担当者とのミーティング、当日の運営において必要な備品の準備、運営方法の

確認等と、必要経費の管理を行う必要があるため、ホストの学生は、運営に携わる全員が全体の流れを把握し、臨機応変に対応できることが望めます。学生にとってはこれら運営に携わることで多くの経験が得られ、これも本ワークショップを行う意義の1つです。

口頭発表: 全10件
ポスター発表: 全9件

研究実績報告

受賞・報道掲載

●受賞

第48回化学関連支部合同九州大会 優秀研究発表賞 (2011/07)

山口 純平、喜多條 鮎子、智原 久仁子、小林 栄次、岡田 重人、山木 準一

「Na二次電池用硫化鉄正極の反応機構」

●受賞

第48回化学関連支部合同九州大会 化学工学分野ポスター賞 (2011/07)

永野 宏司、藤野 茂、梶原 稔尚

「微量高温融体の非接触粘性評価技術に関する研究」

●受賞

アジア若手エアロゾル研究者賞 (2011/08)

竹村 俊彦

エアロゾル・雲・気候相互作用と大気エアロゾルモデリングに関する分野への顕著な貢献および先駆的研究

●受賞

九州大学第8回博士学生交流セミナー 優秀発表賞 (2011/08)

國川 晃太郎、藤野 茂、梶原 稔尚

「高温UVラマンその場分光法を用いたシリカガラスの構造変化」

●受賞

公益財団法人鉄鋼環境基金技術委員長賞 (2011/09)

則永 行庸

「コークス炉ガスの接触部分酸化・水蒸気改質反応機構の解明と迅速水素製造システムの構築」

●受賞

電気化学会九州支部 トークショー・イン・九州 2011 優秀ポスター賞 (2011/09)

中本 康介、朴 選一、小林 栄次、岡田 重人、山木 準一

「水系リチウムイオン電池用負極ナシコン型 $Li_{1+x}Ti_2(PO_4)_3$ の特性改善検討」

●受賞

電気化学会九州支部 トークショー・イン・九州 2011 優秀ポスター賞 (2011/09)

大久保 哲朗、三浦 則雄

「Ga置換によるSr-Fe系ペロブスカイト型酸化物の酸素吸着特性の改善」

●受賞

アジア・プラスチック成形ワークショップ Best Poster賞 (2011/09)

岳 丹丹、三宅 広訓、山田 利佳、藤野 茂、梶原 稔尚

「 SiO_2/PVA ナノコンポジットを用いたシリカガラスへのナノパターン形成」

●受賞

平成23年度全国鉱山保安表彰 (2011/10)

松井 紀久男

受賞した功績: 長年にわたり国内鉱山の鉱山保安改善に貢献した。

●受賞

日本地域学会田中啓一賞 (博士論文賞) (2011/10)

大野 正久

「財政的外部性とソフトな予算制約の経済分析」

●受賞

Korea-Japan Forum International Conference on Organic Materials for Electronics and Photonics (KJF-ICOMEP) 2011ポスター賞 (2011/09)

上野 貴大

「金ナノ粒子/ハイパーブリッチポリマー複合膜による有機抵抗メモリにおける繰り返し耐久性の向上」

●受賞

日本液晶学会 虹彩賞 (2011/09)

柿坂 康太

「新規フッ素系ビナフル誘導体を添加したブルー相の特性評価」

●受賞

フラーレン・ナノチューブ・グラフェン学会 第5回若手奨励賞 (2011/10)

小川 友以

「ヘテロエピタキシャルCu膜上に成長させたCVDグラフェンのドメイン構造」

●受賞

Best Contribution Award for Young Scientists 12th International Conference on Organic Nonlinear Optics (2011/10)

森 裕一

“Synthesis of EO Hyperbranched Polymer having High Glass Transition Temperature and Temporal Stability”

●Award

International Conference on Pipelines and Trenchless Technology 最優秀論文賞 (2011/10)

Yanlong Chen, Hideki Shimada, Takashi Sasaoka, Kikuo Matsui, Koichi Araki, Dai Watanabe

“Application and Numerical Analysis of Chemical Grouting Restoration Method for Pipeline Position”